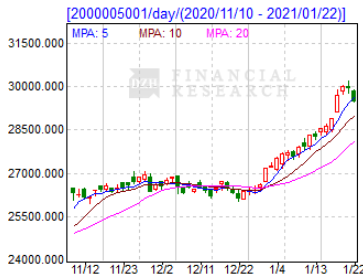




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	30,996.98	-179.03	-0.57	0.59	1.28	30,606.48
NASDAQ	13,543.06	12.14	0.09	4.19	5.08	12,888.28
日経225	28,631.45	-125.41	-0.44	0.39	4.33	27,444.17
上海総合	3,606.75	-14.51	-0.40	1.13	3.85	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,569.78	4.81	0.09	2.05	6.88	5,211.29
ハンセン	29,447.85	-479.91	-1.60	3.06	8.14	27,231.13
中国企業	11,677.45	-212.00	-1.78	3.15	8.74	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.1%高と4週続伸、上海総合指数は1.1%高

香港市場ではハンセン指数が週間で3.1%高と4週続伸。中国の10-12月期GDPの予想上振れやバイデン新政権の経済政策、米中緊張の緩和に対する期待が買いを支えた。本土からの資金流入も好感され、ハンセン指数は19日に節目の29000ポイント台を回復して連日で1年8か月ぶり高値を更新。21日に一時30000ポイント台に乗せる場面もあった。本土市場では上海総合指数が週間で1.1%高と反発。GDPの上振れや政策期待などを背景に21日には節目の3600ポイント台を回復。終値で約5年1か月ぶり高値をつけた。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開に、節目水準を前に利益確定売りも

香港市場は上値の重い展開が予想される。年初からの上昇で相場の過熱感が強まっており、きっかけ次第で利益確定売りが出やすい状況。本土マネーの流入や米中関係改善への期待は相場の支援材料だが、ハンセン指数は節目の30000ポイントが上値の目処として意識されており、節目に近づく水準では利益確定売りに押される展開が見込まれる。一方、本土市場も上値の重い展開か。米中関係の改善期待や中国政府による政策期待などを背景に相場の先高観は根強いものの、高値では利益確定売りが出やすくなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团 (03690)	380.20	23.60
2 藥明生物技術 (02269)	121.30	17.77
3 舜宇光学科技 (02382)	216.20	13.43
4 中国生物製薬 (01177)	7.98	13.03
5 香港証券取引所 (00388)	510.50	11.37
6 創科実業 (00669)	121.60	10.85
7 中国海外発展 (00688)	18.68	9.62
8 石薬集団 (01093)	8.60	7.63
9 華潤置地 (01109)	33.50	7.37
10 テンセント (00700)	691.00	7.13

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国平安保険 (02318)	97.50	-5.43
2 Чай・ユコム (00762)	4.77	-4.79
3 AIAグループ (01299)	100.40	-3.83
4 CNOOC (00883)	7.80	-3.58
5 中国蒙牛乳業 (02319)	46.30	-3.14
6 香港鉄路 (00066)	43.60	-2.57
7 中国工商銀行 (01398)	5.04	-2.33
8 九龍倉置業地産 (01997)	41.95	-2.10
9 中国建設銀行 (00939)	6.06	-1.94
10 ベトナムハイテック (00857)	2.53	-1.94

▼今週の期待材料

- ◆米バイデン新政権が20日に発足、当面は国内問題優先で新たな対中制裁発動は小休止の公算
- ◆本土マネー流入で香港市場が活況、ADR銘柄の香港回帰やテック企業上場の動きも再び活発に
- ◆中国の景気が順調に回復、10-12月の中国のGDP成長率は市場予想上回る6.5%に拡大

▼今週の懸念材料

- ◆香港で新型コロナの新規感染者が高水準で推移、香港九龍半島の佐敦地区の一部で都市封鎖を実施
- ◆香港市場で足元の上昇で相場の過熱感強まる、ハンセン指数は21日に一時節目の30000ポイントに到達
- ◆大手IT企業への規制強化、中国人民銀行が決済サービス業者に対する規制の草案を発表

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤ビール (00291) : 20年12月本決算は補償費などの減少で50%超増益の見通し
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 動画投稿アプリ大手「快手」が26日にもIPO開始
- ☆ 中興通訊 (00763) : 20年12月本決算は速報値で15%減益、10-12月は62%増益
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 20年の新規受注が27%増加、主力の建設部門は28%増
- ☆ 中信証券 (06030) : 20年12月本決算が速報値で26%増収、22%増益
- ★ CNOOC (00883) : 米大統領令を受けてMSCIやFTSEが指数構成銘柄から除外
- ★ シノペック石油工程技術服務 (01033) : 20年12月本決算は91%減益の見通し
- ★ ハルビン電気 (01133) : 20年12月本決算は業績悪化の見通し、海外事業の収益悪化
- ★ 新東方教育科技 (09901) : 20年11月中間決算は13%減益、9-11月は1%増益
- ★ アリババ集団 (09988) : 中国人民銀行が決済サービス業者に対する規制の草案を発表

▼今週の主なイベント

- 1月26日(火)
- 【米国】FOMC(~27日)
- 1月27日(水)
- 【中国】工業企業利益(12月)
- 1月31日(日)
- 【中国】製造業PMI(1月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。